

2024. 8. 11 (日) 使徒17:22~34

17:22 パウロは、アレオパゴスの中央に立って言った。「アテネの人たち。あなたがたは、あらゆる点で宗教心にあつい方々だと、私は見ております。

17:23 道を通りながら、あなたがたの拝むものをよく見ているうちに、『知られていない神に』と刻まれた祭壇があるのを見つけたからです。そこで、あなたがたが知らずに拝んでいるもの、それを教えましょう。

17:24 この世界とそこにあるすべてのものをお造りになった神は、天地の主ですから、手で造られた宮にお住みにはなりません。

17:25 また、何か足りないかのように、人の手によって仕えられる必要もありません。神ご自身がすべての人に、いのちと息と万物を与えておられるのですから。

17:26 神は、一人の人からあらゆる民を造り出して、地の全面に住まわせ、それぞれに決められた時代と、住まいの境をお定めになりました。

17:27 それは、神を求めさせるためです。もし人が手探りで求めることがあれば、神を見出すこともあるでしょう。確かに、神は私たち一人ひとりから遠く離れてはおられません。

17:28 『私たちは神の中に生き、動き、存在している』のです。あなたがたのうちのある詩人たちも、『私たちもまた、その子孫である』と言ったとおりです。

17:29 そのように私たちは神の子孫ですから、神である方を金や銀や石、人間の技術や考えで造ったものと同じであると、考えるべきではありません。

17:30 神はそのような無知の時代を見過ごしておられましたが、今はどこでも、すべての人に悔い改めを命じておられます。

17:31 なぜなら、神は日を定めて、お立てになった一人の方により、義をもってこの世界をさばこうとしておられるからです。神はこの方を死者の中からよみがえらせて、その確証をすべての人にお与えになったのです。」

17:32 死者の復活のことを聞くと、ある人たちはあざ笑ったが、ほかの人たちは「そのことについては、もう一度聞くことにしよう」と言った。

17:33 こうして、パウロは彼らの中から出て行った。

17:34 ある人々は彼につき従い、信仰に入った。その中には、アレオパゴスの裁判官ディオヌシオ、ダマリスという名の女の人、そのほかの人たちもいた。

#### <説教>

第二回伝道旅行中のパウロはアテネに来ました。そこはギリシアの学問、哲学、美術等の文化を誇っていた都でした。しかしその町が偶像でいっぱいなのを見たパウロは心に憤りを覚え、そこでも真の神を、神の子イエスと復活を宣べ伝えました。そしてエピクロス派とストア派の哲学者たちに連れられてアレオパゴスの評議会に行き、アテネの人々にとって全く〈新しい教え〉であるイエスと復活の福音を改めて説教することになりました。そこには哲学者の他にも裁判官、更に他のアテネ市民もいました。

「アテネの人たち」とパウロは語りかけ、説教を始めました(22-23)。アテネの人々はゼウスやアテナやヘルメスやその他多くの神々の像を造り、拝んでいました。更にそれでも足りないとばかりに、自分たちに『知られていない神に』と刻まれた祭壇まで造っ

ていました。どんなに沢山の神々を造り拝んでもなお不安なアテネの人々でした。パウロは「あなたがたが知りたいと願っている新しい教えを教えましょう。今までは知らなかったけれども今からは知るべき真の神を教えましょう」と言いました。真の神は「人が知ることのできる神」です。「ご自分の方から人にご自分のことをお知らせになる神」です。

パウロが教える真の神はどのようにして、またはどのようなお方として、ご自身を人に知らせておられるのでしょうか。それは天地万物世界の創造によって、またそれ故に神が天地の主であることによってです(24)。神と世界が本質的に同じというような汎神論のストア派は、神が天地万物をお造りになったとは考えません。また神は人に無関心だとするエピクロス派は、神を「人間を含めた天地の主」とは考えません。世界の創造主なる真の神はパルテノン神殿にももちろん住んでおられません。天地万物の造り主なる〈神の、目に見えない性質、すなわち神の永遠の力と神性は、世界が創造されたときから被造物を通して知られ、はっきりと認められる〉(ローマ 1:20)のです。

また神は〈すべての人に、いのちと息と万物を与えておられ〉ます。人の存在そのものである〈いのち〉、それを生かすための〈息〉、更に生きるために必要なすべての物〈万物〉は、神が人に与えてくださっています。神の方に〈何か足りない〉ので人から与えてもらって〈仕えられる必要〉など全くありません。神が私たち人に、その存在と生活の必要のすべてを与えて生かしてくださっています。そのように恵み深いお方として神はご自身を人に知らせておられます。そのことを同じギリシア神話の偶像礼拝の町リステラでもパウロは教えていました(14:17)。

また神は〈一人の人からあらゆる民を造り出して、地の全面に住ませ〉ておられます(26)。神は〈地の全面〉の〈あらゆる民〉を〈一人の人〉アダムから出た一つの子孫として見ておられます。「我ら文明人、その他野蛮人」みたいなアテネの人たちの考えは間違いです。そして神は〈時代〉と〈住まいの境〉を決め、お定めになり、そうやって歴史を支配しておられます。そのように神は、全歴史を通して全人類の神としてご自分を知らせておらるとパウロは言います。確かにアテネでは歴史学も盛んだったことでしょう。

神は〈こうして、人々が熱心に追い求めて捜しさえすれば、神を見いだせるようにして下さった〉(27 口語訳)のです。〈確かに、神は私たち一人ひとりから遠く離れてはおられません〉。むしろ私たち一人ひとりを、創造主とし深く関心を持って見ておられ、完全に知っておられ、近く共におられようとしてくださっています。むしろ私たち人間の方が勝手に、すぐ後でパウロが指摘するようにその罪の故に神から〈遠く離れて〉いるのです。

パウロは神が〈私たち一人ひとりから遠く離れてはおられない〉ことをストア派の詩人たちの言葉をも引用してアテネの人たちに知らせようとしてしました(28)。もちろん彼らの言う「神」は〈偶像〉です。しかしそこまで言っているなら、あとは神を天地万物の創造主、恵み深く、歴史の支配者として正しく知りさえすれば、とすることもなるでしょう。〈私たちは神の子孫〉と自認するなら、神のことを自分勝手に〈考えるべきではありません〉(29)。神は人が〈考え〉て造るものではなく、〈求め〉て〈見出す〉べきお方です。

しかし人間はそんなに近くにおられ、ご自身を知らせておられる真の神を〈知られていない神〉としてしまい、また自分勝手に〈考え〉て〈偶像〉を造り出してしまいました。当然正しく知るべき神を知らずに〈無知〉(30)でいました。この神についての〈無知〉こそ人間の罪です。それは〈今はどこでも、すべての人〉が〈悔い改める〉べき罪です(30)。

この罪は人が的外れ、見当違いの方向に神を求める罪です(29)。また「もし求めることがあれば」(27)とあるように、そもそも自己満足や怠惰の故に「求めない」罪です。人はその罪の故に神を怒らせて来たことを〈今〉認め、悲しみ、悔い改めなければなりません(30)。

神はご自身を人に知らせようと充分になさって来たのに、人がその罪のために神を知らないでいることに対しては「さばき」の 때가定まっているからです(31)。人が真の神を求めて見出しているか否かによる、〈義をもって〉のさばきであり、人間が勝手に決めた差別や区別によるものではありません。そして悔い改めるときは〈今〉だとパウロは言います。〈今〉とは神が〈神は日を定めて、お立てになった一人の方により、義をもってこの世界をさばこうとしておられる〉今、〈この方を死者の中からよみがえらせて、その確証をすべての人にお与えになった〉今です(31)。神が〈お立てになった一人の人〉、〈この方〉とはもちろん主イエス・キリストです。イエスが私たちの罪を負って私たちのために十字架で神のさばきを受けてくださり、神がイエスを死者の中からよみがえらせた〈今〉です。イエスが私たちの罪のために十字架で死なれ、よみがえられたという福音を聞かせて、神は私たち人を驚かせ、恐れさせ、また感謝させて、神を求め、見出すようにして下さっているのです。神のあわれみによって〈無知の時代を見過ごして〉いただき、生かされて来た私たちは、〈今はどこでも〉十字架の死とよみがえりの主イエス・キリストを信じて真の神に立ち返り(すなわち悔い改め)、真の神を見出すべきです。主イエス・キリストによって、主イエス・キリストを通して真の神を正しく知り、真の神だけを礼拝し、真の神だけに仕えるべきです。それがこの世界のさばきのときに、恐れなく感謝あと喜びをもって神の前に立つことができるただ一つの道です。

パウロはイエスの復活だけでなく、そのように、「最後の審判」のときに私たち人もまた神の前に立つために復活することまでも話したようです。「死者たちの復活」(32)と書かれていているからです。アテネの人たちの応答は三つに分かれました。〈ある人たちはあざ笑い〉、すぐに拒みしました。また〈ほかの人たちは「そのことについては、もう一度聞くことにしよう」と言〉いました。つまり先延ばしにしました(一体いつ信じるつもりなのでしょう)。〈こうして、パウロは彼らの中から出て行〉きました(33)。〈しかし、〈ある人々は彼につき従い、信仰に入〉りました(34)。

神が〈どこでも、すべての人に悔い改めを命じておられ〉る〈今〉、私たち一人ひとりが主イエス・キリストを信じ、悔い改めて生きるように心から願い、祈ります。